

# 学園だより

## 台風16号高潮被害災害復旧ボランティア活動(玉野市)に参加して



吉備国際大学ボランティアセンター副センター長 塚田 健二

台風16号による高潮被害は、県南部沿岸一帯に大きな被害をもたらしました。吉備国際大学ボランティアセンターでは、夏休み中ではありましたが、岡山県社会福祉協議会とも連絡をとりながら、9月3日(金)~5日(日)の3日間、玉野市において災害復旧ボランティアを行いました。ボランティアセンターでは、2日にボランティア派遣を決定し、同日のうちに、センター登録者や、学生部、ゼミ等のルートを通じて、ボランティアを募集し、翌日からの派遣となりました。復旧活動は、玉野市社協のボランティアセンターからの指示を受けながら、壊れた土塀の土砂の撤去、冠水した高齢者の住宅からの家具の撤去、住宅の土砂の清掃等をおこないました。学生は、活動を始めるまでは不安をいただいていたようでしたが、住民の方から感謝され、参加した学生は、それぞれに貴重な体験をさせていただきました。また、ボランティアセンターをとおして、一般の主婦の方も参加され、学生にとってもいい励ましとなりました。活動参加者は、教職員延べ15名、学生延べ39名、社会人2名、合計56名。



# がんばるっ子



響け!ぼくらの演奏  
西山小学校の吹奏楽団~  
ブルースカイブルー-NISIYAMA

小学校の小さい音楽室にトランペットの音が響き渡ります。市の西端、広島県境の標高約550mのところにある西山小学校では、トランペットを中心とした吹奏楽に取り組んでいます。1年生から6年生までの全校児童13人と先生を交えての楽団、その名も「ブルースカイブルー-NISIYAMA」。毎朝、授業がはじまる前の10分間の練習と、週に1回、音楽の時間に全校児童揃って練習に励んでいます。行事の前には、さらに練習時間が増えます。

音をまだ出せない低学年は太鼓やトライアングルなどの打楽器を受け持ち、3年生からトランペットよりやや小さくて音の出やすい楽器



「リズムをとるのは大変」と低学年の児童



全校児童そろっての練習

の「コレット」。トランペットを吹けるようになるには、4年生くらいからになるといいます。「みんなと演奏するのは楽しいよ。早くトランペット吹けるようになりたいな(阿曾宏美さん・小1)」、「太鼓はリズムをとるのが大変」(谷奥紋美さん・小2)、「練習は大変だけど本番でうまく吹けた時はとても嬉しいです」(芳賀雄斗くん・小3)、「簡単には音が出ません。はじめて音が出た時は、とてもうれしかった」(三尾誠人くん・小6)と子どもたちは、一生懸命に取り組んでいます。

入学式や運動会、卒業式などの学校行事での演奏のほか、地元のお祭や老人ホームへの慰問など活動範囲も広く、レパートリーは、「鉄腕アトム」、「さくら(森山直太郎)」、「上を向いて歩こう」、「となりのトトロ」など20曲近くあります。

この活動が認められて、平成7年には山陽新聞桃太郎賞を受賞しました。

指導に当たる堀田治講師(32)は、「難しい曲は子ども同士で励ましあい、教えあっています。うまくできた時には自信につながっているようです。小さい学校ですから、人前で発表するといった活動は子どもの成長に大変役立つというのでは」と話しています。



「リズムをとるのは大変」と低学年の児童

編集後記

晩秋の高梁の自然は、雲海や紅葉がきれいで心が癒されます。

しかし、各地域に様々な被害をもたらした超大型の台風23号。

一旦災害に遭うと普段は心を癒してくれる自然も、一瞬にして生活に支障をきたすことになり恐怖すら感じました。帰り道には倒木や崩土、帰宅できても停電で真っ暗闇。電気のない生活が朝まで続き、不便さを実感しました。

災害が発生した場合、災害を防いだり、最小限にするためには、自分や家族をはじめ、自分たちの住む地域全体が安全になることが大切だと感じました。

安全で住みよいまちをつくるためには、日頃の防災に対する身近な心構えを徹底し、地域住民のコミュニケーションを大切に、連携を深めていくことが必要ではないでしょうか。

(TK)

### わたしの健康づくり

#### 誰でも気軽に 太極拳を!

健康づくりの一環として、太極拳を楽しむメンバー。毎週火・木・金曜日の午後7時30分から約2時間、各曜日会場を変えて太極拳教室を行っています。参加者は全会場あわせると、30代から80代までの24人。太極拳の型や呼吸法を習得しようと練習に励んでいます。

太極拳は、老若男女を問わず気軽に参加でき、肩こり・腰痛・ストレス解消・集中力アップなどに大きな力を発揮します。ゆったりとした動きは、忙しい日常から解放され、体の芯からリラックスできます。

練習会場にはゆったりとした音楽が流れ、みんな笑顔で会話を交わし、その場の雰囲気だけでも、「癒し」を感じることが出来ます。

代表の戸田義武さんは「太極拳を通じて健康を維持するとともに、人とのつながりの中で心も健康になれば嬉しい。他の地域で太極拳をしているグループと交流したい」と話されます。同好会では地域を問わず仲間を募集中。興味のある人は代表の戸田さんまで。

☎ 073-3958

有漢町太極拳同好会  
代表 戸田義武さん



有漢町太極拳同好会  
代表 戸田義武さん



# ボランティア活動があります

「手づくり遊び教室」をとおして「子どもたちに知恵と工夫を」

栄町商店街の空き店舗を会場として、アイデアあふれる木工やピース遊びなどを体験する「手づくり遊び教室」。

運営するメンバーは、吉備国際大学の学生約20人。毎回、7~8人の学生が、子どもたちに「知恵」と「工夫する心」を持ってもらおうと「手づくり遊びのおもしろさ」を伝えていきます。

活動のきっかけについて、英香織さん(2年生)は「大学の勉強をより深めたいので」、また、矢田尚子さん(1年生)は「ボランティアは趣味のようなものです。NPO活動などもやっています。もっと身近で子どもたちに接したいから」と話してくれました。

会場での学生は、同じ目線と子どもたちと向かい合い、かけつけ、活動のきっかけについて、英香織さん(2年生)は「大学の勉強をより深めたいので」、また、矢田尚子さん(1年生)は「ボランティアは趣味のようなものです。NPO活動などもやっています。もっと身近で子どもたちに接したいから」と話してくれました。

次回は11月20日。学生たちと一緒に手づくり遊びを楽しんでみてはいかがでしょうか。

「子どもたちとの2時間は、あつという間です。社会体験にもなるし、自分たちも楽しみながらやっています」と、みんなごく自然に話します。

学生らは、特別なことをしているという意識はほとんどなく、「自分たちができることを」という思いで活動しているようです。

